

SHOW HEY シネマルーム

★★★★★

アザーズ

2002 (平成14) 年5月6日鑑賞

Data

監督: アレハンドロ・アメナーバル

出演: ニコール・キッドマン/フィ

オヌラ・フラナガン/クリス

トファー・エクルストン

<ショートコメント>

ブルース・ウィルス主演の『シックス・センス』(98年度作品)以来流行となった、死者なのか生者なのかをボヤカした不思議な映画。

本作品もまさにその流れ。それをニコール・キッドマンが大きな「存在感」をもって演じている。

グレース(ニコール・キッドマン)は、娘と息子とともに3人でイギリスのジャージー島内のお屋敷に住んでいる。子供たちは日の光に対してアレルギーがあるため、絶対に太陽の光を浴びてはダメ。だからお屋敷の窓にはいつもぶ厚いカーテンがかけられ、各部屋のドアには必ずその都度カギをかけている。そんなグレースのお屋敷に新しい使用者希望者3人がやってきた。

グレースは3人を雇ったが、その後次々と事件が発生する。使用者を雇うための新聞広告の手紙は、まだお屋敷のポストに残っていた。すると3人の使用者が新聞広告を見て訪ねてきたというのはウソか・・・?それとも問題はグレース自身にあるのか・・・?

生きている人間だと観客には思えるものの、実は死者だった・・・というストーリーは二番煎じ気味。また太陽光アレルギーという設定だから、当然のことながら映画全体は暗く陰うつ。

しかしまあ、クラシックな黒いドレスを着た美しいニコール・キッドマンがずっとスクリーンに出ずっぱりだから、それでいいことにしておこう。

2002 (平成14) 年8月16日記